

取扱いの趣旨

過活動膀胱治療剤である抗コリン薬は、添付文書に抗コリン作用を有する薬剤（抗コリン剤、三環系抗うつ剤、フェノチアジン系薬剤、モノアミン酸化酵素阻害剤）を併用した場合、抗コリン作用が増強され、口内乾燥、便秘、排尿困難等の症状が現れるおそれがあることの記載があるため、過活動膀胱治療剤（抗コリン薬2種類）の併用投与は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年4月30日》

109 過活動膀胱治療剤（抗コリン薬2種類並びに抗コリン薬及びβ3受容体作動薬）の併用について

○ 取扱い

- ① 過活動膀胱治療剤について、抗コリン薬2種類の併用は、原則として認められない。
- ② 過活動膀胱治療剤について、抗コリン薬とβ3受容体作動薬の併用は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

過活動膀胱治療剤の抗コリン薬については、コハク酸ソリフェナシン錠（ベシケア錠）の作用機序に、「膀胱平滑筋において、ムスカリンM3受容体拮抗作用を示すことにより、膀胱の過緊張状態を抑制し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する。」と示されている。

しかしながら、併用注意として、抗コリン作用を有する薬剤（抗コリン剤、三環系抗うつ剤、フェノチアジン系薬剤、モノアミン酸化酵素阻害剤）を併用した場合、抗コリン作用が増強されて、口内乾燥、便秘、排尿困難等が現れるおそれがあることが示されている。

このため、抗コリン薬2種類の併用は、原則として認められないと判断した。

また、β3受容体作動薬については、ミラベグロン錠（ベタニス錠）の作用機序に、「膀胱平滑筋のβ3アドレナリン受容体を刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する。」と示されており、抗コリン作用を有する薬剤とは作用機序が異なることから、併用投与については、原則として認められる。

このため、抗コリン薬とβ3受容体作動薬の併用は、原則として認められると判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	千葉、奈良	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	—	
③請求どおり・審査委員	千葉、奈良	対象1万件当たり件数の多い順

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・投与日数及びコメントより、別日の服用であり併用投与には当たらないことから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年10月～2025年9月審査分

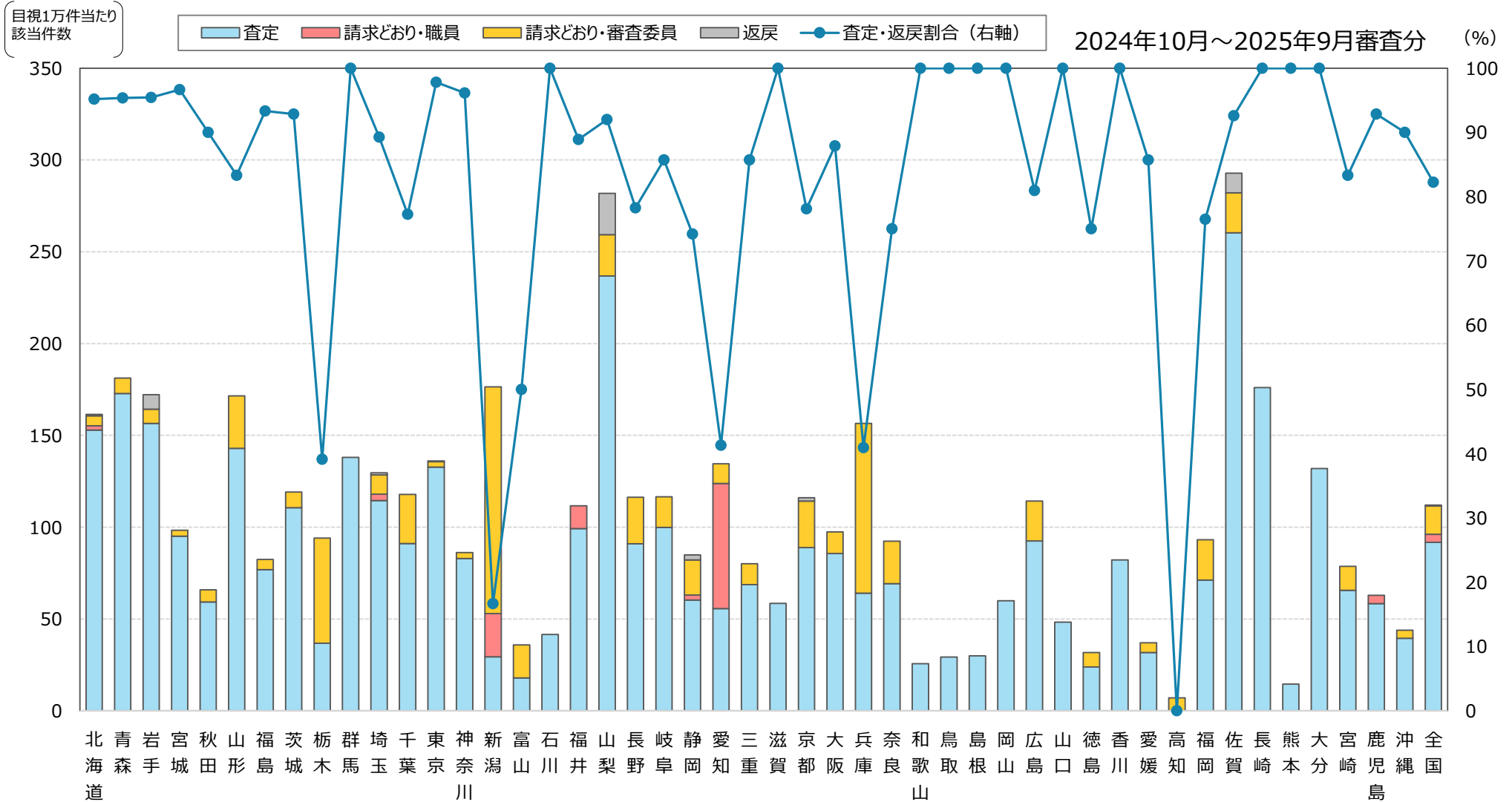
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,213件のうち、**取扱いと異なる審査は46件（2.08%）**
検証対象13都道府県のうち、**フォローアップ対象は2都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
01 北海道	208										
02 青森	43										
03 岩手	22										
04 宮城	30										
05 秋田	10										
06 山形	24	24	100.00%	20	0	20	4	0	0.00%	0	0
07 福島	15										
08 茨城	42										
09 栃木	23	22	95.65%	9	0	9	13	1	4.35%	0	1
10 群馬	31										
11 埼玉	112										
12 千葉	88	69	78.41%	68	0	68	1	19	21.59%	0	19
13 東京	318										
14 神奈川	104										
15 新潟	30	29	96.67%	5	0	5	24	1	3.33%	0	1
16 富山	4										
17 石川	6										
18 福井	9										
19 山梨	25										
20 長野	23	23	100.00%	18	0	18	5	0	0.00%	0	0
21 岐阜	28										
22 静岡	31	31	100.00%	22	1	23	8	0	0.00%	0	0
23 愛知	150	147	98.00%	62	0	62	85	3	2.00%	2	1
24 三重	14										

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	11										
26 京都	64	58	90.63%	49	1	50	8	6	9.38%	0	6
27 大阪	281	281	100.00%	247	0	247	34	0	0.00%	0	0
28 兵庫	149	149	100.00%	61	0	61	88	0	0.00%	0	0
29 奈良	28	22	78.57%	21	0	21	1	6	21.43%	0	6
30 和歌山	5										
31 鳥取	2										
32 島根	2										
33 岡山	20										
34 広島	42	41	97.62%	34	0	34	7	1	2.38%	0	1
35 山口	8										
36 徳島	4										
37 香川	12										
38 愛媛	7										
39 高知	1										
40 福岡	68	59	86.76%	52	0	52	7	9	13.24%	0	9
41 佐賀	27										
42 長崎	27										
43 熊本	3										
44 大分	26										
45 宮崎	12										
46 鹿児島	14										
47 沖縄	10										
全国	2,213							46	2.08%	2	44

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	208	43	22	30	10	24	15	42	23	31	112	88	318	104	30	4	6	9	25	23	28	31	150	14	11	64	281	149	28	5	2	2	20	42	8	4	12	7	1	68	27	27	3	26	12	14	10	2,213
請求どおり件数	10	2	1	1	1	4	1	3	14	0	12	20	7	4	25	2	0	1	2	5	4	8	88	2	0	14	34	88	7	0	0	0	0	8	0	1	0	1	1	16	2	0	0	0	2	1	1	393

【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数